



夏に増える、見えない危険。

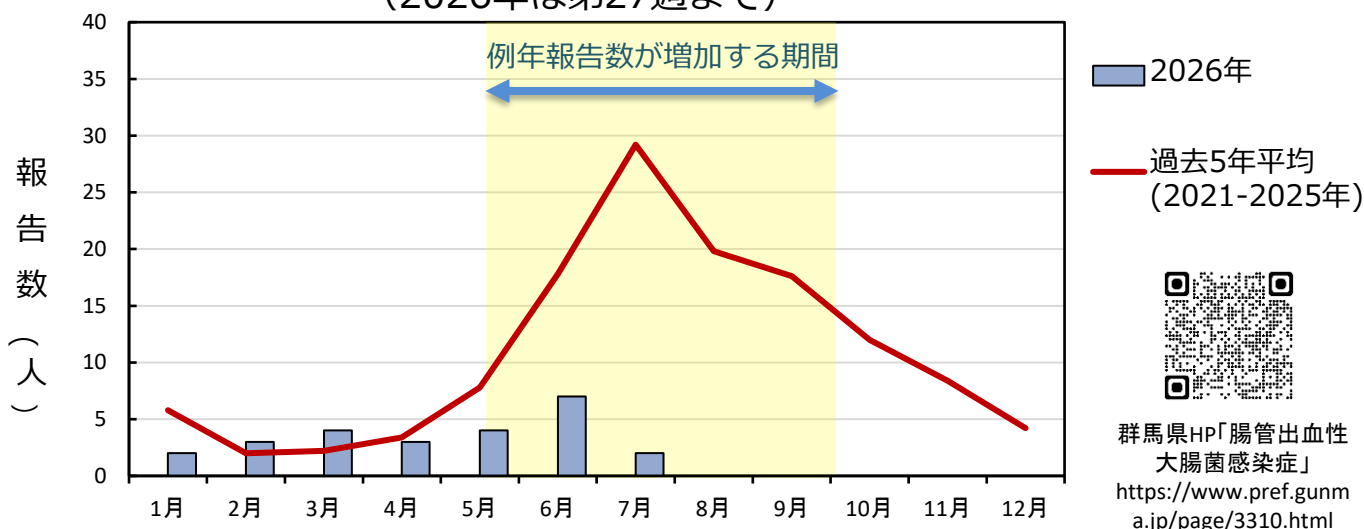
腸管出血性大腸菌感染症

◆ 群馬県の流行状況

2026年は第27週（～7月5日）までに25件の報告がありました。（昨年同時期：52件）

例年、気温が高くなる**初夏から秋**にかけて多く報告されています。

腸管出血性大腸菌感染症 報告数
(2026年は第27週まで)



症状



- ・ 下痢、腹痛、血便、発熱
- ・ **高齢者や乳幼児は重症化しやすい**
- ・ 無症状でも便中に菌を排出し、周りに感染を広げるおそれがある

予防



- ・ 石けんと流水での手洗い
- ・ 調理器具は生肉用と生肉以外用で使い分ける
- ・ 使用した調理器具は洗浄、消毒する
- ・ **生肉は中心までよく加熱する**

拡大防止



- ・ 症状があれば速やかに受診する
- ・ 下着は塩素系漂白剤でつけ置き消毒する
- ・ 症状のある人は家族と一緒に入浴しない
- ・ **トイレ後、オムツ交換後は石けんで手洗い**

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県衛生環境研究所

TEL: 027-232-4881

E-mail: kenkokikikanri-c@pref.gunma.lg.jp